

臨床研究「Selectivity Index の代替指標としての尿比重 / 尿浸透圧比の検討」ご

協力をお願い

当科ではより簡便に、そして低コストで腎臓病の病態把握ができる検査指標を探索しています。このため 2013 年～2017 年の間に、当科で腎臓病の治療を受けた患者さん、また 2018 年から 2019 年の間に治療を受ける患者さんの内、血液の蛋白質（トランスフェリンと免疫グロブリン G）、尿中の蛋白質（トランスフェリンと免疫グロブリン G）、そして尿比重・浸透圧を測定した人を対象として、これらの測定項目と腎臓病の関連性を調べさせていただければと考えております。新たに採血や採尿をする必要はなく、あくまで診療中に行った検査の値を解析させていただくのみです。学会や論文等で結果を公表する場合は個人が特定されるような情報は公開しません。

ご協力いただけない場合はご遠慮なく腎臓内科担当医にお申し出下さい。解析対象から除外させていただきます。それにより診療内容が変わるなど、不利益を被ることはありません。主旨をご理解の上、何卒ご協力をお願い致します。

2018 年 2 月 20 日

腎臓内科部長 前田益孝